第一回 スポーツマネジメント人材育成セミナー
（スポーツ庁支援事業）

1　開催目的　仙台市・スポーツコミッションせんだいでは、大規模スポーツイベントの誘致・開催やプロスポーツと連携した地域活性化に数多く取り組んできました。一方で、これらの取り組みのノウハウは、属人的なものとなりやすく、行政機関や関係した企業では人事異動の周期が短いことから、十分に継承されていない現状があります。今後もスポーツによる地域活性化を推進するためには、大規模スポーツイベント等の誘致・開催、スポーツと組み合わせた観光の推進や地域づくり等を戦略的に進める体制を構築することが求められ、そのためには、産官学双方でスポーツマネジメントやマーケティング的発想を有する人材を育成することが不可欠であることから、当セミナーを開催することにいたしました。スポーツ庁支援事業として年度内に3回開催を予定しています。

2　テーマ　「プロ球団の官民支援組織の役割と成果…地域活性化の装置として…」

3　内　容　プロ球団の支援組織は、行政だけでなく広く地域の関係分野の力を結集することができるため、当該プロ球団はもとより地域への波及効果も大きくなりました。その設立、活動からの事例は自治体のまちづくりの手段として、地域活性化のツールとして有効で、プロ球団以外のテーマに置き換えて検討してみる価値があります。今回、在仙プロ球団にはそれぞれ官民支援組織があり、各々の役割とこれまでの成果からその価値をより広く深く理解してもらうとともに、その機能を地域振興に活かすための具体策を考察します。

4　主　催　スポーツコミッションせんだい　／共　催　スポーツ・ラボ仙台

5　日　時　11月28日（金）14：00～17：00

6　会　場　ゼビオアリーナ仙台内　**スポーツ・ラボ**（仙台市太白区あすと長町一丁目4番10号）

7　当日スケジュール（予定）

13:30　受付開始
14:00　本編開始
【イントロダクション】5分程度
スポーツマネジメント人材育成セミナーとは…
14:05　**【第一部：教本の解説】30分＋質疑応答　計40分程度**
講師：スポーツ・ラボ スタッフ
《　休　憩　》（10分）名刺交換等を促進
14:55　**【第二部：官民支援組織を活用した課題解決】計90分程度**
グループディスカッション20分＋整理作業
グループごとに発表＋質疑応答（5～6グループ）各10分
総括（弓田先生？or行政OB？）5分
16:25　終了
17:10　完全撤収　→　希望者は懇親会へ

8　参加者　①県内自治体等において企画・政策・スポーツ・観光・街づくり行政に携わる方々
②プロスポーツ等スポーツに関わりがあり、当セミナーに関心・興味のある方

9　申込、締め切り　10月28日(火)、別紙申込用紙にて

スポーツコミッションせんだい事務局
〒980-0012　仙台市青葉区錦町1-3-9　(公財)仙台市スポーツ振興事業団内
Tel:022-215-3209　Fax：022-215-3575　URL：http://scs-sendai.jp/

第一回 スポーツマネジメント人材育成セミナー

（スポーツ庁支援事業）

『プロ球団の官民支援組織の役割と成果』

…地域活性化の装置として…

主　催　スポーツコミッションせんだい

共　催　スポーツ・ラボ仙台　**協　力**　河北新報社

日　時　2025年11月28日(金) 14時00分～16時30分

会　場　ゼビオアリーナ仙台内 スポーツ・ラボ

《 次　第 》

1．開会

2．本会の趣旨説明

スポーツコミッションせんだい　事務局長　奥山　健一

3．第1部：教本の解説（30分＋質疑応答　計40分程度）

一般社団法人 スポーツ・ラボ仙台　専務理事　清水　義明

《　休　憩　》（10分）名刺交換等を

4．第2部：グループディスカッション（計70分程度）

グループディスカッション30分＋整理作業10分

グループごとに発表＋質疑応答（3グループ）各10分

5．総括（講評）

6．閉会

7．懇親会・・・人脈・ネットワークづくりを／今後の展開

第一回 スポーツマネジメント人材育成セミナー 参加者名簿

No.	参加者氏名	所属機関等	GW班	備 考
1	吉田 勝則	仙台市 文化観光局文化スポーツ部 スポーツ振興課 課長		
2	早坂 秀仁	仙台市 文化観光局文化スポーツ部 スポーツ振興課事業係 係長		
3	渡部 純平	仙台市 文化観光局文化スポーツ部 スポーツ振興課事業係 主事	③	
4	川崎 俊輔	仙台市 文化観光局文化スポーツ部 スポーツ振興課事業係 主事	②	
5	瀬戸 淳也	角田市 生涯学習課 課長補佐	①	
6	小嶋 雄悦	富谷市 教育部 生涯学習課 課長	②	
7	清水 勇希	富谷市 教育部 生涯学習課 技術主査	①	
8	門田 唯志	利府町 企画部 スポーツ振興課 課長	②	
9	桜井 志朗	美里町 地域おこし協力隊	①	
10	平工 覚	(公財)宮城県スポーツ協会 総務部次長兼総務課長	③	
11	佐藤 浩一	(公財)宮城県スポーツ協会 生涯スポーツ推進課 クラブアドバイザー	①	
12	鈴木 淳紘	楽天イーグルス・マイチーム協議会(仙台商工会議所 中小企業支援部 地域づくり推進G)	②	
13	小松 健夫	(一社)日本旅行業協会 東北支部 東北副支部長	③	
14	佐藤 司	市民スポーツボランティアSV2004 理事	②	
15	栗田 直樹	(一社)まちくる仙台 企画・広報	③	
16	渡邉 利典	㈱RUNDY 代表取締役	③	
17	鈴木 雅友	東北経済産業局 商業・流通サービス産業課	②	
18	林田 麻希	(一社)宮城県サッカー協会 事務局	③	
19	亀井 博行	(公財)仙台市スポーツ振興事業団 カメイアリーナ仙台 副館長	①	
20	児玉 聡	スポーツコミッションせんだいアドバイザー ((一社)スポーツ・ラボ仙台 理事長)		事務局
21	清水 義明	(一社)スポーツ・ラボ仙台 専務理事		事務局
22	泉田 和雄	スポーツコミッションせんだいアドバイザー(一社)スポーツ・ラボ仙台 理事(スポーツボランティアケアサポーター)		事務局
23	小野寺 仁	STORY㈱ 代表取締役		事務局
24	奥山 健一	スポーツコミッションせんだい事務局長((公財)仙台市スポーツ振興事業団 常務理事)		事務局
25	青山 綾	スポーツコミッションせんだい事務局次長((公財)仙台市スポーツ振興事業団 事務局次長)		事務局
26	山形 英寛	スポーツコミッションせんだい事務局((公財)仙台市スポーツ振興事業団 スポーツ交流課長)		事務局
27	小磯 正臣	スポーツコミッションせんだい事務局((公財)仙台市スポーツ振興事業団 スポーツ交流課SC推進室長)	①	事務局

第１回スポーツマネージメント人材育成セミナー

プロ球団の官民支援組織の役割と成果

・・・地域活性化の装置として・・・

2025年11月28日

スポーツコミッションせんだい

1　目的と事業

1－1目的

Ⅰ　ベガルタ仙台ホームタウン協議会（平成 14 年 4 月 18 日設立）資料 1

（目的）

第 1 条 本会は，ベガルタ仙台ホームタウン協議会（以下「協議会」という。） と称し，仙台市を中心とする全県をホームタウンとして活動するベガル タ仙台を支援し，ベガルタ仙台とともにサッカーを核としたスポーツ文 化の振興，青少年の健全育成及び地域の活性化に寄与することを目的とする。

※地域との連携、学校へのアプローチ、サッカー文化の盛り上げなどベガルタ仙台が単独では成しえないことをバックアップするため。

Ⅱ　楽天イーグルス・マイチーム協議会（平成 16 年 12 月 27 日設立）

（目的）

第 1 条　本協議会は、宮城県をフランチャイズとする東北楽天ゴールデンイーグルスを支援する組織を結成し、楽天イーグルスと密接な連携を保ちながら、地域密着型球団として仙台、宮城さらには東北に、しっかりと根を下ろすようさまざまな活動を実施し、地域振興ならびに野球をはじめとしたスポーツの振興に寄与する。

※目的は楽天イーグルスと地域との良い関係づくりにある。そのため球団がやりたいことを実現するために知恵を絞り、汗をかくことであって、球団が言う「地域密着」をいかに実現させるかであった。

Ⅲ　仙台 89ERS ホームタウン協議会（平成 28 年 9 月 5 日設立）

（目的）

第 2 条 協議会は、会員団体相互で連携し仙台市をホームタウンとする仙台 89ERS が一層多くの人々に愛され地域に密着した球団となるよう支援し、バスケットボールを核とし た スポーツの振興、地域の活性化に寄与することを目的とする。

※地域連携やバスケットボールを通した街の賑わいなど仙台 89ERS が単独では成しえないことをバックアップするため。

１－２事業

Ⅰ　ベガルタ仙台ホームタウン協議会

（事業）

第２条 協議会は，次の事業を行う。

1 ベガルタ仙台を支援する市民活動の拡大に関する事業

2 ベガルタ仙台が行う地域活動等に対する支援及び協力に関する事業

3 ベガルタ仙台の運営に対する支援に関する事業

4 前３号に掲げるもののほか，本会の目的を達成するために必要な事業

※設立当時から、球団設立の背景等もあって、本来球団が単独で実施しなければならないことの多くを協議会と任意組織のベガルタ仙台・市民後援会が補完してきた。事業は、事務局とともに運営委員会を設置し、具体の事業実施等を行っている。

〇過去の主な事業

・まち中、商店街へのフラッグ、ビッグユニフォーム掲出

・地下鉄、駅広告

・ユアスタ周辺清掃

・七夕飾り掲出

・キャンプ出発壮行式

・ホームタウンフェスタの開催

・チアペーパー作成配布　**資料２**

・J2 優勝パレード　**資料３**

・アウェイゲームのパブリックビューイング

Ⅱ　楽天イーグルス・マイチーム協議会

（事業）

第３条　本協議会は中長期の活動方針、年間行事など各種事業を決定し、楽天イーグルスを応援する企業、団体、グループ等とともに事業を行う。

※地元有力企業に参画を要請して幹事社（10 万円／年）として年２回の幹事会への出席のうえ、各種報告や審議に参加してもらうこととした。運営組織として協議会の発起人社による事務局団会議を設け、企画・活動の核としてきた。

○過去の主な事業

・商店街へのポスター掲出

・まち中、商店街へのフラッグ、ビッグユニフォーム掲出　**資料４**

・支援組織同士の意見交換会

・久米島マルシェ

・まちいこスタンプラリー

・久米島町訪問団受け入れ

・日本シリーズ優勝パレード　**資料５**

・ガリバーオールスターゲームパブリックヴューイング　**資料６**、**６-１**

・キャンプ出発壮行式　**資料７**

・シーズン激励報告会　**資料８**

Ⅲ　仙台 89ERS ホームタウン協議会

（事業）

第３条 協議会は、前条の目的を達するためクラブと連携し、次の事業を行なう。

⑴ クラブの取り組む事業への支援及び応援機運の醸成に関すること

⑵ バスケットボールを中心とした地域スポーツの振興に関すること

⑶ クラブを核とした地域・経済の活性化に関すること

⑷ 青少年の健全育成に関すること

⑸ その他協議会の目的を達成するために必要なこと

※地元有力企業・大学等に参画を要請し、31 団体で組織を構成。会長１・副会長７・顧問２・会員 17 は負担金または会費を徴収。幹事２、オブザーバー2 は会費なし。年１回の幹事会では、各種報告や審議に参加してもらうことした。また事業を効果的に実施するため、企画立案等を審議する運営委員会にはボランティアも参画し、活動の核としてきた。なお、仙台 89ERS が bj リーグに初めて参入した 2005 年秋に、官民支援組織の「仙台 89ERS とともにまちづくりをすすめる会イエローブースターズ」を立ち上げ、その後「仙台 89ERS サポート協議会」に改組、さらに現在のホームタウン協議会に改めている。段階的に組織を強化し、深化してきた。

○過去の主な事業

・長町へのフラッグ、のぼり旗掲出

・地下鉄駅への広告

・横断幕設置（クリスロード）

・イエロープロジェクト（花壇設置）

・長町商店街スタンプラリー

・商店街での激励会　**資料９**

・七夕飾り掲出（クリスロード）

・アウェイゲームのパブリックビューイング

２　構成メンバーによるチカラ・機能

Ⅰ　ベガルタ仙台ホームタウン協議会

（構成）

第３条 協議会は，第１条の目的に賛同する個人，法人及び団体による会員を もって構成する。

※会費なし

（役員）

第４条 協議会に，次の役員を置き，会員の中から総会において互選する。

会長　　１名　→仙台市長

副会長　２名　→ベガルタ仙台・市民後援会会長、仙台市文化観光局長

監事　　２名　→仙台青年会議所理事長、泉青年会議所理事長

（顧問）

第５条　協議会に顧問を置くことができる。→県知事、県議会議長、市議会議長

※事務局は仙台市であるが、事業計画等は運営委員会にて企画・実施。メンバーは、仙台市商工会議所、河北新報社、ベガルタ仙台、宮城県サッカー協会、支援組織などの実務者が参画している。その後設立されるプロ球団支援組織のモデルとなっていた。

・

Ⅱ　楽天イーグルス・マイチーム協議会

（会員）

第４条　本協議会に会員は、第１条の目的に賛同する団体・企業等とする。

※年会費あり

（役員）

第６条　本協議会に次の役員を置く。

会長　　１名　→仙台商工会議所会頭

副会長　若干名　→河北新報社社長、JR 東日本東北仙台支社長、楽天野球団社長

監事　　若干名　→仙台観光国際協会理事長、仙台青年会議所理事長

（顧問）

第７条　本協議会に顧問を置くことができる。→県知事、仙台市長

※地元有力企業が参加する幹事会を置き、その下部組織に副会長社の河北新報社、JR、顧問の仙台市、宮城県、監事社から実務担当者と事務局の仙台商工会議所からなる事務局団会議を置き、企画・活動の核とした。地域振興部会では、特に仙台市内中心部商店街との関係づくり、応援委員会では、応援ルールづくり、ボランティア部会ではボランティアを希望する市民と球団との橋渡しを担った。

Ⅲ　仙台 89ERS ホームタウン協議会

（会員）

第４条 協議会の会員団体は、第２条の目的に賛同する団体・企業等とする。

※年会費あり

（役員）

第６条 協議会には、次の役員を置く。

会 長　　１ 名　→仙台市長

副会長 若干名　→宮城県バスケットボール協会会長、河北新報社社長他

監 事 ２ 名　→仙台商工会議所青年部、仙台市バスケットボール協会会長

（顧問）

第９条 協議会に、顧問を置くことができる。　→県知事、仙台商工会議所会頭

※地元の企業等による幹事会、その下部に運営委員会を置き、事務局の仙台市スポーツ振興事業団とともに企画・実施を行っている。仙台市太白区長町地域を拠点にしていることもあり、当該地区の商店街や町内会等との連携に力を入れて活動している。

Ⅳ　仙台プロスポーツネット（参考）

仙台は３つのプロスポーツが本拠地とし、それぞれの球団に官民一体となった支援組織が存在する日本唯一の都市である。各支援組織が持つ知識、機能、情報、事業を連携させることにより、各支援組織だけでは達成し得ない効果をもたらすとともに、３球団の連携を進め、仙台のプロスポーツを日本全国に発信し、さらなる地域密着、相互の活性化を図ることを目的に 2007（平成 19）年４月に設立。

仙台に本拠を置くプロスポーツ球団はそれぞれ地域戦略が異なっているため、共同事業がし辛い状況にある。そこで、3球団のオブザーバー参加のもと、仙台市スポーツ振興課が事務局となり、各球団それぞれの支援組織である東北楽天ゴールデンイーグルス・マイチーム協議会、ベガルタ仙台ホームタウン協議会、イエローブースターズ（当時）の3者が参加した。各球団の地域戦略を妨げない範囲で、支援組織が主体となった3球団連携を推進する試みが始まった。

＜仙台プロスポーツネットの主な活動＞

・仙台プロスポーツネット設立記念シンポジウム「プロスポーツと地域」（2007年6月）**資料10**

・サマースポーツフェスティバル（2007年7月）

「ガリバーオールスターゲーム＆ベガルタ仙台パブリックビューイング」

・ベガルタ仙台＆楽天イーグルス観戦企画　**資料11**、**11-1**、**11-2**

観戦満喫パック（2007年9月）

観戦おためしパック（2007年9月）

・第3回せんだいプロスポーツフェスティバル（2007年12月）**資料13**

フォト＆絵画コンテスト、せんだいプロスポーツかるた読み句募集、スタジアムDJバトル

・「4.12仙台のプロスポーツを応援する同日観戦パック」（2008年4月）　**資料12**

No.1「仙台バーサス大阪」楽天戦＋仙台89ERS戦

No.2「地下鉄シリーズ」ベガルタ戦＋仙台89ERS戦

・第5回せんだいプロスポーツフェスティバル（2010年3月）　**資料14**

チアリーダーパフォーマンス、応援ファッションショー、体感型スポーツパークほか

・指導者クリニック（2010年4月）　**資料15**

・ボランティアマナー講習会（2014年2月）　**資料16**

3　支援組織の成果と課題

3－1　成果

・市民の日常として、いきいきとスポーツを楽しみ、スポーツボランティア等の活動を通じ支えあい、応援することで感動を分かち合う。そしてプロスポーツを通じて実現した市民、行政、企業や団体がひとつのチームとなり、地域の活性化を図る、という土壌が仙台にできあがっており、地域経済への貢献、交流人口の拡大にもつながっていると考えている。

・経済波及効果（宮城県HPから）

	2006年	2010年	2016年	2023年	2024年
楽天イーグルス	97億円	138億円	213億円	178億円	224億円
ベガルタ仙台	26億円	25億円	24億円	19億円	22億円

・観客動員数（宮城県HPほか）

	2006年	2010年	2016年	2023年	2024年
ベガルタ仙台	346,868人	330,287人	287,839人	235,521人	253,294人
楽天イーグルス	905,820人	1,067,334人	1,517,680人	1,292,028人	1,553,915人
仙台89ERS	44,080人	37,908人	72,568人	131,194人	130,748人

・令和2年度仙台市スポーツに関する意識調査

地元プロスポーツチームの関心の有無は、「大いに関心がある」、「まあまあ関心がある」が6割を占める。スポーツボランティアとしての活動は、「活動したことがある」が約3%。

・スポーツボランティア登録者数（ボランティアステーション）

2019年337人→2025年1,654人

・「プロスポーツによる東日本大震災からの復興キックオフデー」の調整がスムーズに行うことができた。 **資料17**

・構成メンバーに各分野の実務者を参画させることにより、化学反応で大きな成果が期待できる。「こんなことができるのでは？」という想定しなかったことが実現可能に。

・県道、市道への応援フラッグ掲出が許可されやすい。

・各球団からチケットの割引が受けやすい。

3－2　課題

・球団創設期は、支援組織がまさにバックアップ・支援してきた。20年経過して球団と地域を結ぶ役割を果たしてきた支援組織は、地域の事情による要望を球団に伝え、実行していかなければならない。

・キーパーソンが代わった場合や行政の人事異動に伴う窓口機能等の変化があるにも関わらず、組織の継続を課題として捉えていなかった。

・行政からの負担金がいつまで続くかなど予算の確保に課題。独立採算は不可能。

・支援組織が地域課題を球団や自治体に提示できるようになること。

2025年11月28日

第一回スポーツマネジメント人材育成セミナー

第二部「グループディスカッション」資料

テーマ案　(1)プロスポーツ球団との連携関係をより深めて地域活性化を実現したい

(2)地域のお祭りやイベントが継続的に開催され地域活性化に資する状況（担い手の確保、運営体制など）を作りたい

(3) 施設が地域の活性化に貢献できるか？その方法は？体制は？

(4)空き家再利用による定住人口拡大（移住促進事業）

◎「例題：考え方」・・・〇〇体育館が△△地域を中心に地域活性化に貢献するために

【目的】〇〇体育館が△△を中心に地域活性化の拠点活動をする

【事業】　・ゆかりのスポーツ選手(チーム)関連のイベント、展示事業

・(例えば)リガーレ仙台および宮城のバレーボールの聖地となる（ハイキューを？）

・上記競技、選手(チーム)関連の情報集積、発信拠点になる

・コンサート事業等を含め稼働率〇%を達成する（＝年間動員人数：〇万人）

・隣接の「〇〇公園」との連携事業構築

※具体の事業案

【連携】　・役所との連携　・スポーツコミッションせんだいとの連携　・リガーレ仙台との連携

・宮城県バレーボール協会、ボランティア組織、仙台観光国際協会との連携

・〇〇商店街など周辺商業・経済組織との連携

・周辺企業、メディア、大学・学校、町内会などとの連携

【推進組織体】　「〇〇アリーナ活用地域活性化協議会(仮)」

【事務局活動】　・構成メンバーとの情報交換（コアユーザーを交えた拡大事務局の考え方も）

・想定事業の立案、推進

・効果測定、検証、

◎各グループで「課題」を設定して、例題のように

【目的】【事業】【連携】【推進組織体】【事務局活動】を考察してください。

グループ名：

【目的】
【事業】
【連携】
【推進組織体】
【事務局活動】

【その他】